

平成 22 年度 農業農村工学会 資源循環研究部会 講演会・研究発表会を開催しました

(社)地域資源循環技術センターが事務局を努める (社)農業農村工学会 資源循環研究部会の講演会・研究発表会が平成 22 年 11 月 19 日に東京ビッグサイトにて開催されました。本会は、農村における水の循環やバイオマスの利活用にかかる技術の研究・開発の推進、部会員間の学術交流を目的に開催されるもので、今年で第 8 回となります。

本年度は、慶応大学大学院の金谷年展教授に「資源循環と低炭素社会の実現に向けた課題について」、三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング(株)の加藤貴義氏に「カーボン・オフセットを活用した低炭素ビジネスの姿について」ということで基調講演を行っていただきました。続く事例報告では、山鹿広域行政組合事務局長の栃原栄一氏に「生ごみの完全資源化に向けた取組みについて」の報告をいただきました。

研究発表会では、集落排水・施設の技術動向、メタン発酵技術の推進、メタン発酵消化液の利用推進というセッションにおいて、合計 11 件の発表がありました。研究発表会終了後には、研究部会幹事による審査が行われ、最優秀の発表課題には資源循環研究部会長賞が授与されました。

本年度の部会長賞として、「窒素安定同位体トレーサーを用いた集落排水高度処理水の水稲生育への影響解析」が選定され、凌部会長から発表者の治多伸介さんに賞状と副賞が手渡されました。

